

平成27年8月の 第3次産業活動指数の動き

平成27年10月15日
経済解析室

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

平成27年8月 第3次産業活動指数の状況

月次(H27年8月)	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数	103.3	104.7	101.6
前月比	0.1%	▲ 0.3%	0.5%
指数水準	H27.04 103.3以来 (超)H27.02 103.4 I H20.03 106.7 II H26.03 105.5 III H20.02 105.3	H27.05 104.6以来 ①H23.03 94.5 ②H21.03 97.1 ③H23.04 97.5	H27.04 101.7以来 I H20.03 113.8 II H20.02 111.3 III H20.04 111.0
前月比の動き	2か月ぶり+ (H27.06以来)	2か月連続- (H27.07以来)	2か月ぶり+ (H27.06以来)
前月比幅	H27.06 0.4%以来 I H26.03 2.1% II H23.04 1.8% II H23.06 1.8%	H27.03 ▲0.6以来 ①H23.03 ▲6.4% ②H26.04 ▲4.7% ③H24.01,26.02 ▲1.0%	H27.06 0.6%以来 I H22.01 2.4% II H20.03 2.2% III H20.02,22.07 1.5%
原指数 前年同月比	1.7%	1.2%	2.3%
前年同月比の動き	5か月連続+ (H27.04以来)	5か月連続+ (H27.04以来)	5か月連続+ (H27.04以来)
前年同月比幅	H27.07 1.8%以来 I H24.03 4.7% II H24.05 4.0% III H24.04 3.3%	H27.07 2.0%以来 I H24.03 7.4% II H24.04 4.6% III H24.05 3.8%	H27.06 2.5%以来 I H24.05 4.1% II H26.03 3.3% III H27.04 3.1%

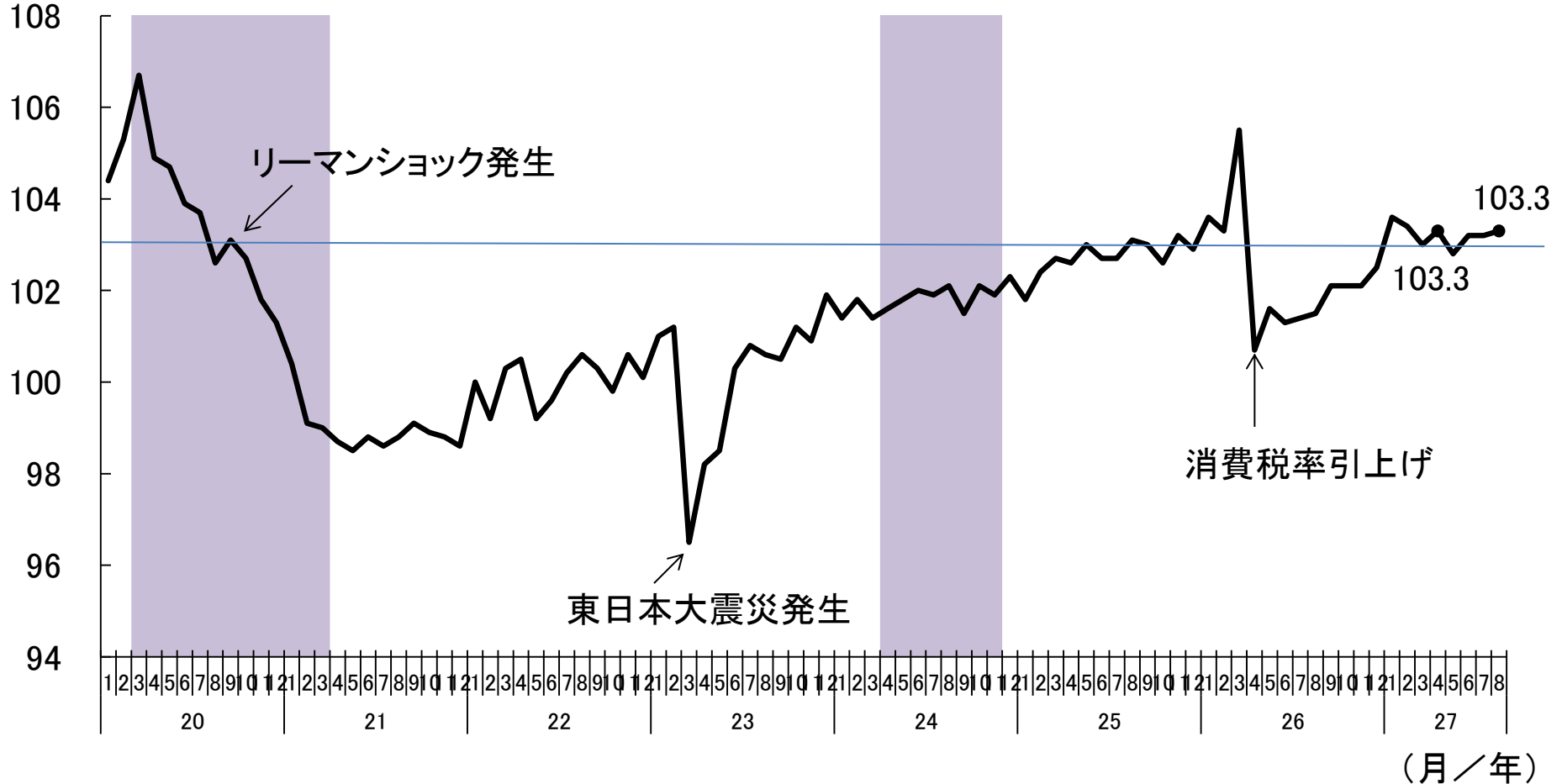
※1 ローマ数字のデータは平成22年基準における最大値からのもの、○数字は最小値からのもの

※2 ▲はマイナス

第3次産業活動指数の動向

- 平成27年8月の第3次産業活動指数は103.3(前月比0.1%)の上昇。
- 平成27年4月の103.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)シャドー部分は景気後退局面。

平成27年8月 「第3次産業活動は横ばい傾向」

(平成22年=100、季節調整済)

基調判断の推移

- ・平成27年1月～4月
「持ち直している」
- ・平成27年5月～6月
「足踏みがみられる」
- ・平成27年7月～8月
「横ばい傾向」

※基調判断は維持

(27年1月より基調判断を実施)

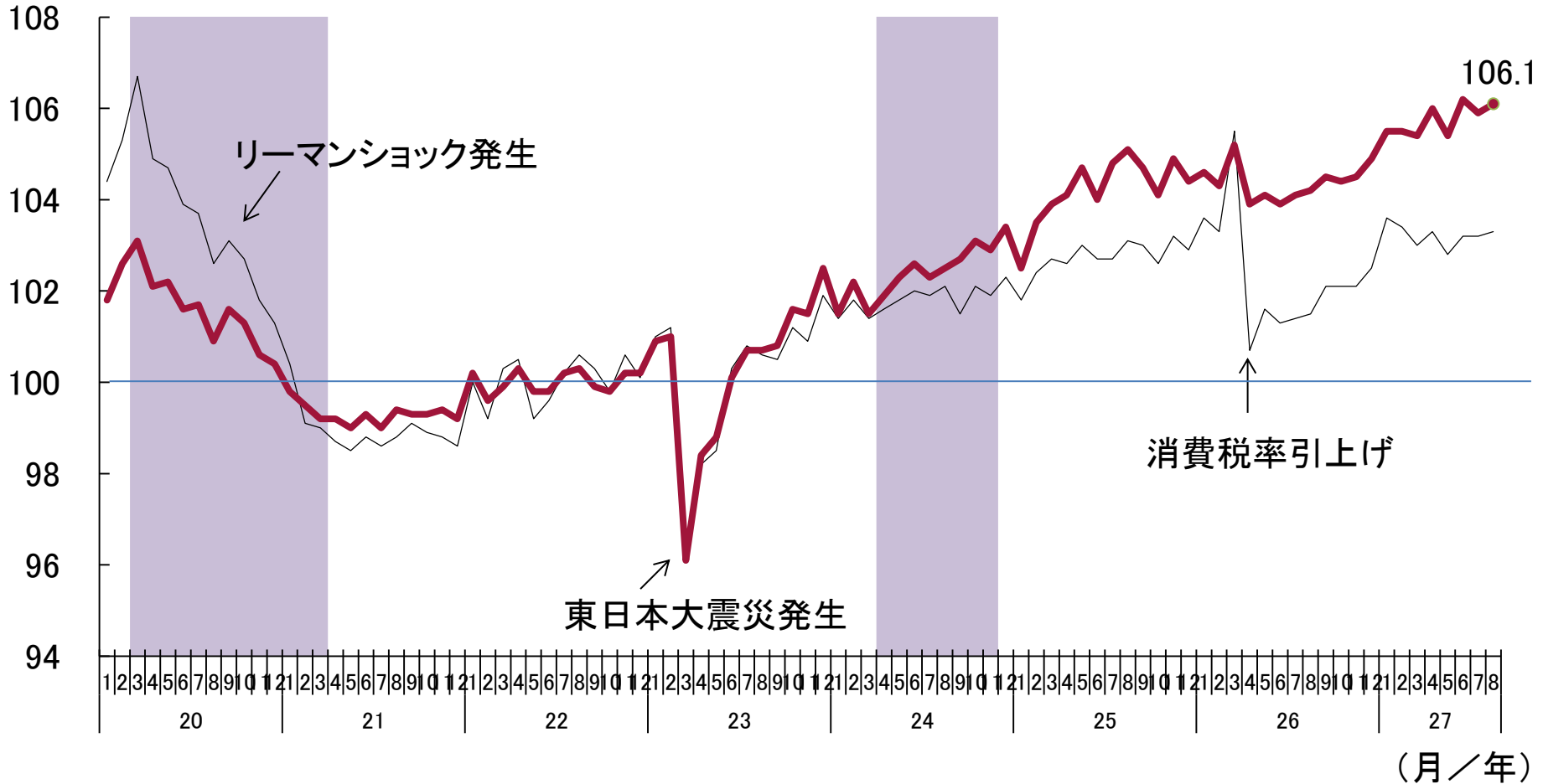
		第3次産業 総合	
			前期比(%)
25年	I期	102.3	0.2
	II期	102.8	0.5
	III期	102.9	0.1
	IV期	102.9	0.0
26年	I期	104.1	1.2
	II期	101.2	▲ 2.8
	III期	101.7	0.5
	IV期	102.2	0.5
27年	I期	103.3	1.1
	II期	103.1	▲ 0.2

		第3次産業 総合		3か月移動	
			前月比(%)	平均	前月比(%)
25年	1月	101.8	▲ 0.5	102.2	0.2
	2月	102.4	0.6	102.3	0.1
	3月	102.7	0.3	102.6	0.3
	4月	102.6	▲ 0.1	102.8	0.2
	5月	103.0	0.4	102.8	0.0
	6月	102.7	▲ 0.3	102.8	0.0
	7月	102.7	0.0	102.8	0.0
	8月	103.1	0.4	102.9	0.1
	9月	103.0	▲ 0.1	102.9	0.0
	10月	102.6	▲ 0.4	102.9	0.0
	11月	103.2	0.6	102.9	0.0
	12月	102.9	▲ 0.3	103.2	0.3
26年	1月	103.6	0.7	103.3	0.1
	2月	103.3	▲ 0.3	104.1	0.8
	3月	105.5	2.1	103.2	▲ 0.9
	4月	100.7	▲ 4.5	102.6	▲ 0.6
	5月	101.6	0.9	101.2	▲ 1.4
	6月	101.3	▲ 0.3	101.4	0.2
	7月	101.4	0.1	101.4	0.0
	8月	101.5	0.1	101.7	0.3
	9月	102.1	0.6	101.9	0.2
	10月	102.1	0.0	102.1	0.2
	11月	102.1	0.0	102.2	0.1
	12月	102.5	0.4	102.7	0.5
27年	1月	103.6	1.1	103.2	0.5
	2月	103.4	▲ 0.2	103.3	0.1
	3月	103.0	▲ 0.4	103.2	▲ 0.1
	4月	103.3	0.3	103.0	▲ 0.2
	5月	102.8	▲ 0.5	103.1	0.1
	6月	103.2	0.4	103.1	0.0
	7月	103.2	0.0	103.2	0.1
	8月	103.3	0.1		

卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数

- 平成27年8月の卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数は106.1（前月比0.2%）の上昇。
- 平成27年6月の106.2以来の指数水準。

（22年＝100、季節調整済）

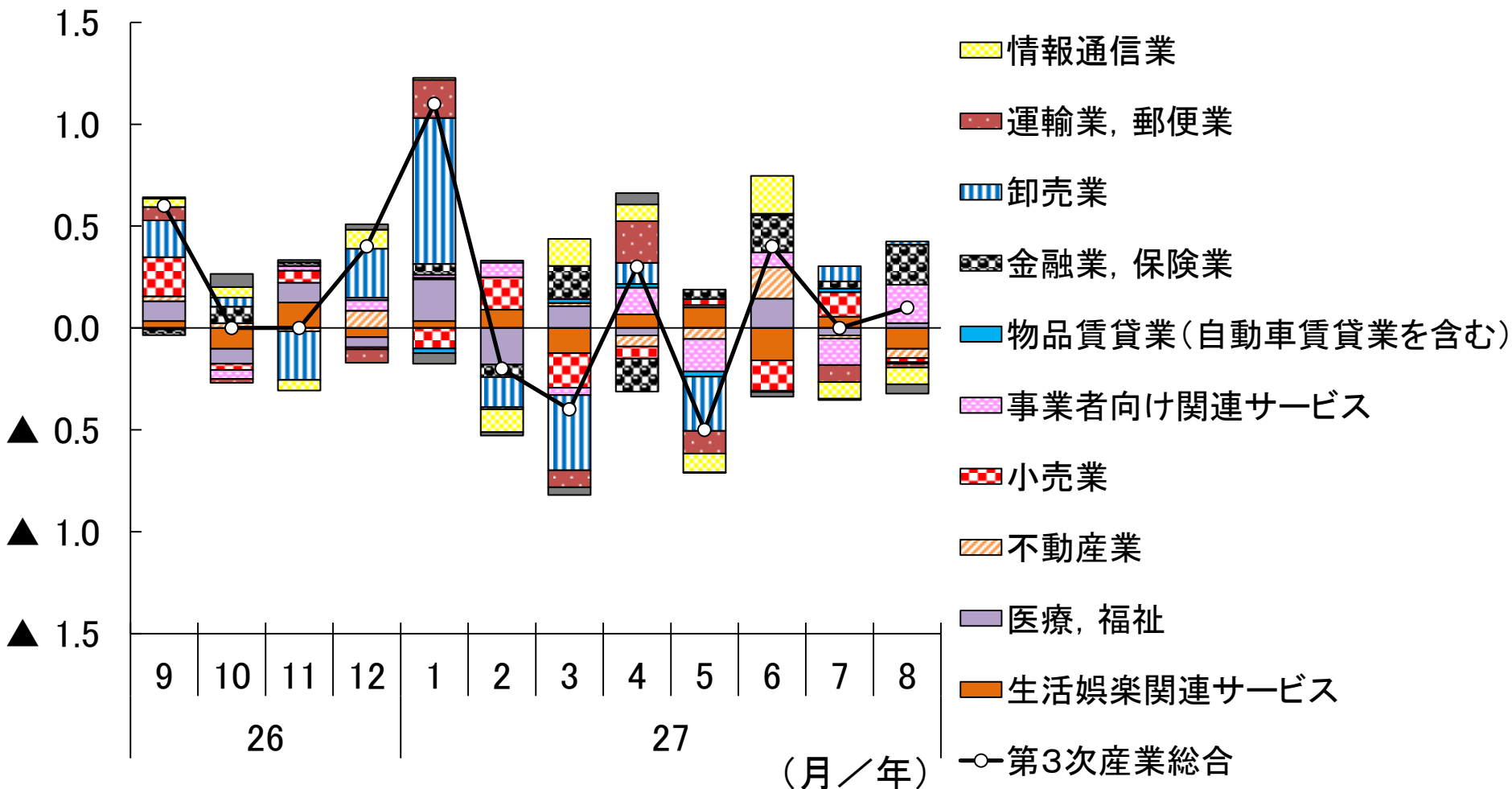


（注）シャド一部分は景気後退局面。

8月の第3次産業活動指数の業種別寄与度分解

- 平成27年8月の第3次産業活動指数(前月比、季節調整済)は金融業、保険業、事業者向け関連サービスなどが上昇したため、前月比0.1%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



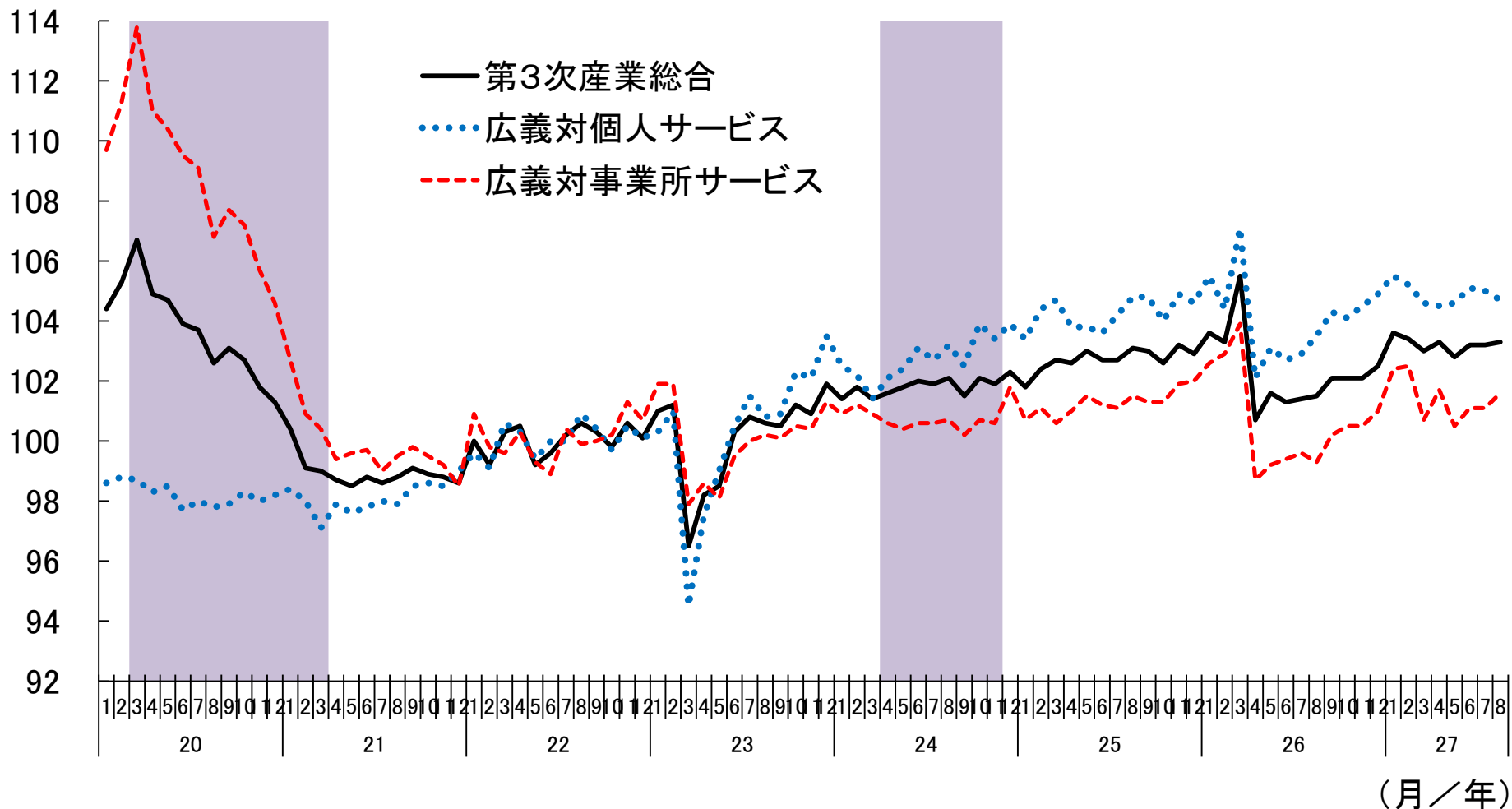
第3次産業総合を大きく動かした個別系列

		業種名	前月比	寄与率
○ 第3次産業総合を 上昇 方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	金融業, 保険業	1.9%	203.7%
	内訳業種	金融商品取引業, 商品先物取引業	21.7%	218.0%
	2位の業種	事業者向け関連サービス	2.6%	194.8%
	内訳業種	土木・建築サービス業 その他の広告	6.3% 10.8%	70.5% 44.0%
	3位の業種	医療, 福祉	0.2%	24.7%
	内訳業種			
○ 第3次産業総合を 低下 方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	生活娯楽関連サービス	▲ 0.9%	▲ 104.7%
	内訳業種	ホテル パチンコホール	▲ 8.1% ▲ 3.9%	▲ 64.2% ▲ 42.2%
	2位の業種	情報通信業	▲ 0.7%	▲ 84.7%
	内訳業種	情報処理・提供サービス業 ソフトウェア業	▲ 2.6% ▲ 0.6%	▲ 53.4% ▲ 15.9%
	3位の業種	電気・ガス・熱供給・水道業	▲ 1.7%	▲ 47.7%
	内訳業種	電気業	▲ 1.3%	▲ 17.9%

寄与率: 第3次産業全体の変動に対して影響を及ぼした、各業種の影響の度合い
全業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる

広義対個人サービスと広義対事業所サービス活動指数の動向

(22年=100、季節調整済)

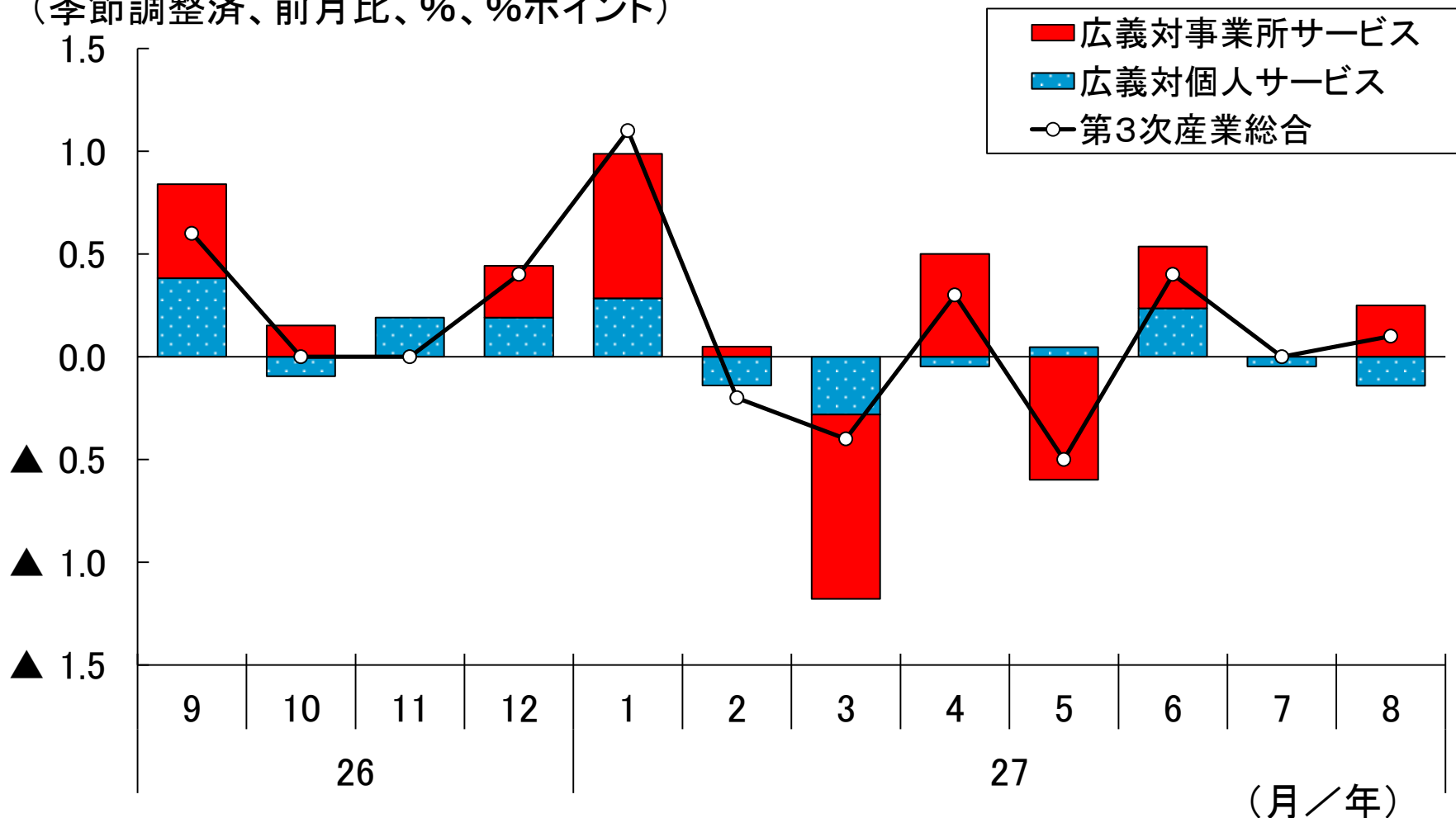


(注)シャドー部分は景気後退局面。

広義対個人・対事業所サービスの内訳寄与

- 平成27年8月の第3次産業活動指数は、広義対事業所サービスが上昇したことにより、前月比0.1%の上昇。

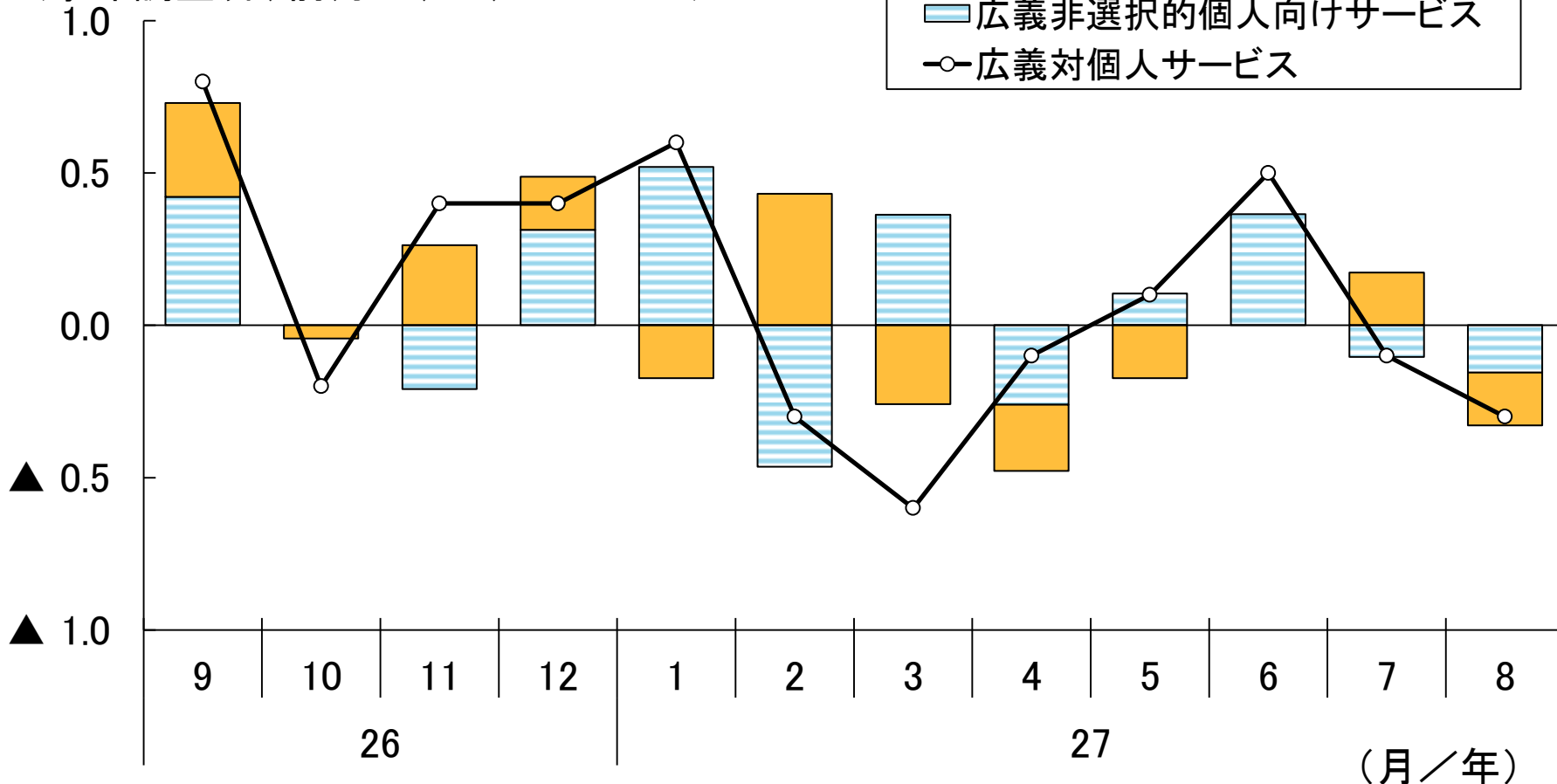
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



広義対個人サービスの内訳寄与

- 平成27年8月の広義対個人サービスは、し好的個人向けサービス、非選択的個人向けサービスともに低下したことにより、前月比▲0.3%の低下。

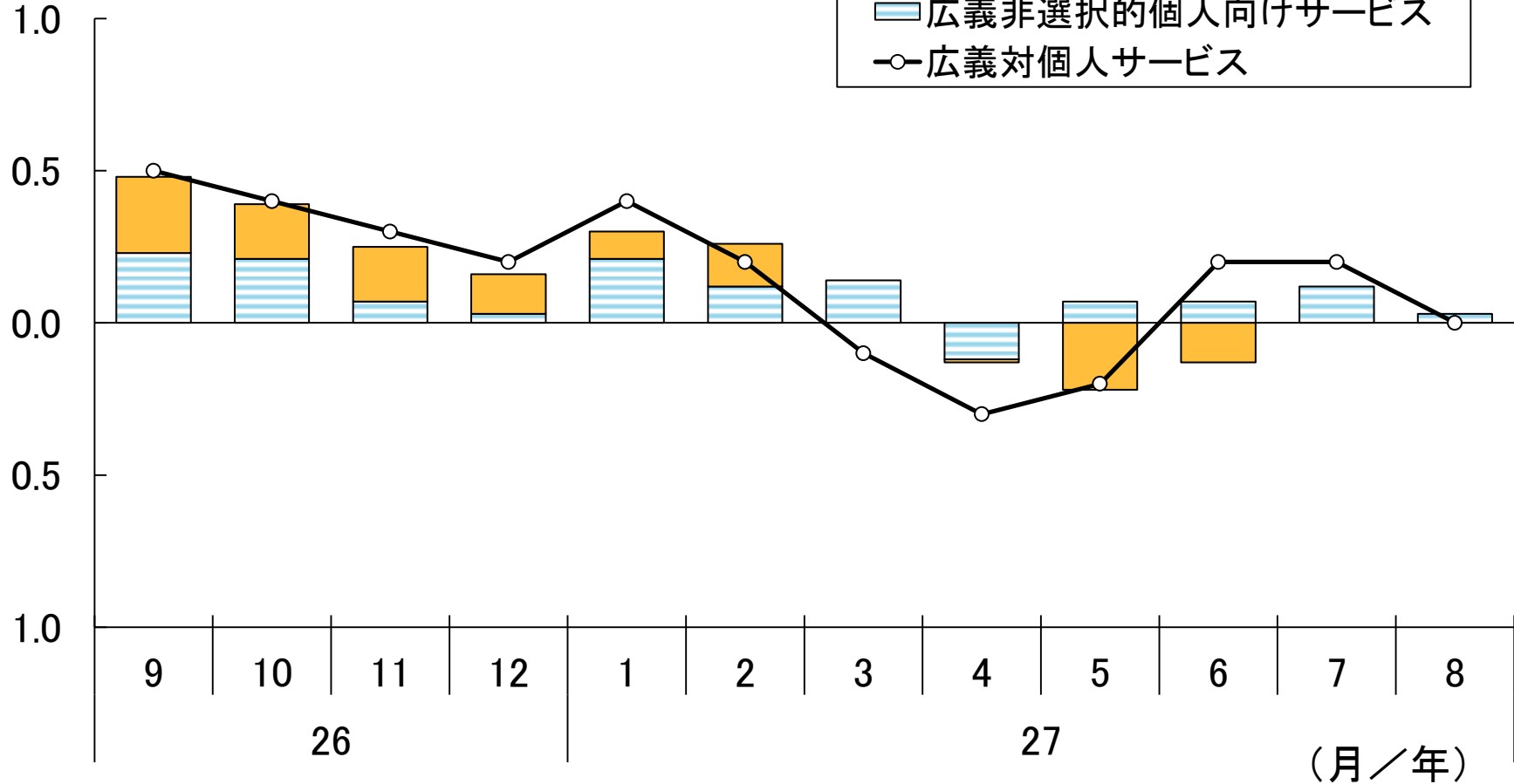
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(参考)

広義対個人サービスの内訳寄与(後方3か月移動平均)

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



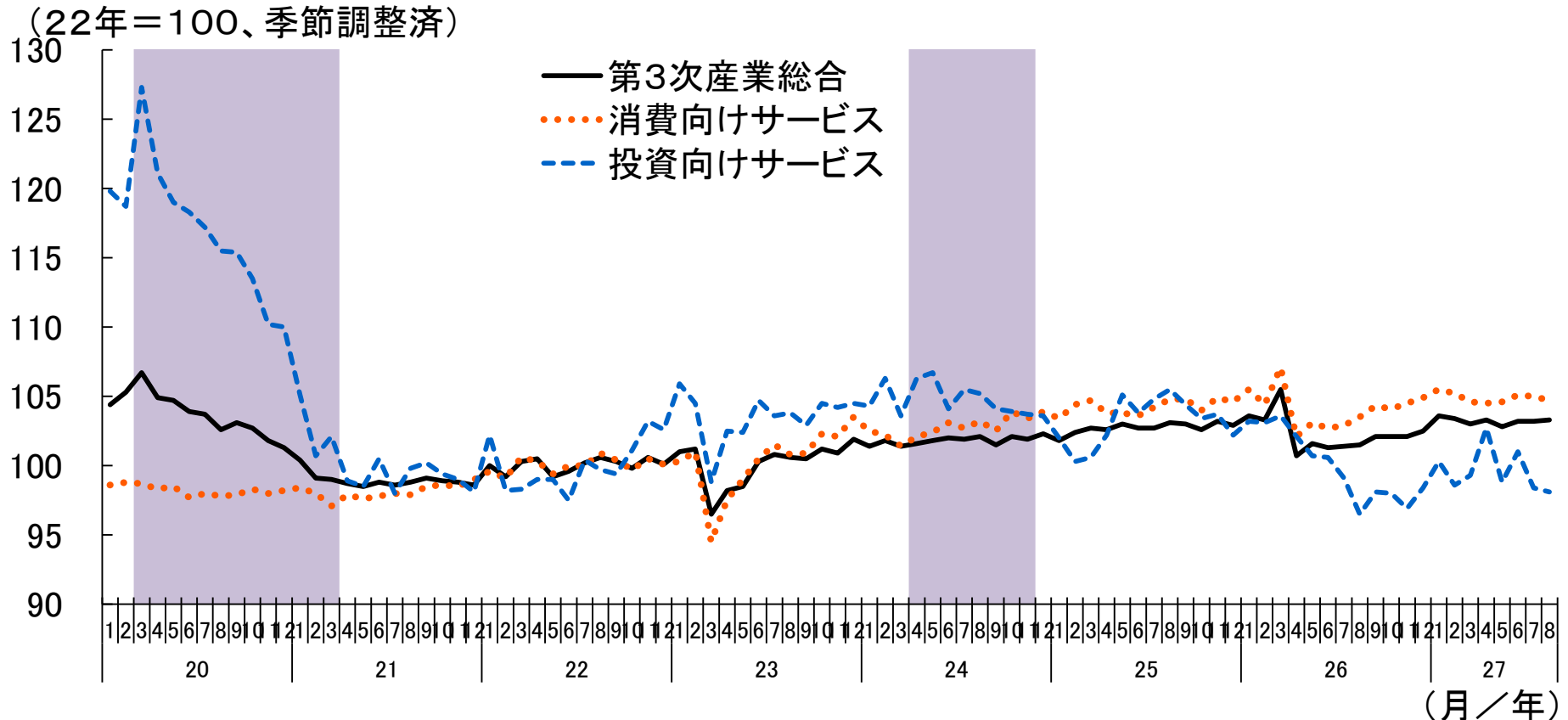
広義対事業所・し好的個人向けサービスを大きく動かした個別系列

	業種名	前月比
○ 広義対事業所サービスを 上昇 方向へ引張った業種の中で上昇への影響度が大きい内訳業種	流通業務	25.8%
	食料・飲料卸売業	5.3%
	各種商品卸売業	3.0%
	他に分類されない広告	15.2%
	公認会計士事務所, 税理士事務所	6.1%
○ 広義対事業所サービスを 低下 方向へ引張った業種の中で低下への影響度が大きい内訳業種	一般貨物自動車運送業	▲ 2.8%
	電気機械器具卸売業	▲ 3.2%
	全銀システム取扱高	▲ 2.8%
	建設コンサルタント	▲ 5.7%
	その他の卸売業	▲ 3.7%

	業種名	前月比
○ し好的個人向けサービスを 低下 方向へ引張った業種の中で低下への影響度が大きい内訳業種	マンション分譲(首都圏)	▲ 16.7%
	ホテル	▲ 8.1%
	パチンコホール	▲ 3.9%
	その他の小売業	▲ 1.3%
	旅館	▲ 7.0%
○ し好的個人向けサービスを 上昇 方向へ引張った業種の中で上昇への影響度が大きい内訳業種	ゲームソフト	35.8%
	普通洗濯業	20.4%
	結婚式場業	17.8%
	美容業	5.2%
	戸建住宅売買(首都圏)	14.5%

消費向け／投資向け指数の動向

- 平成27年8月の消費向け第3次産業は、前月比▲0.3%低下、投資向け第3次産業も前月比▲0.3%低下。

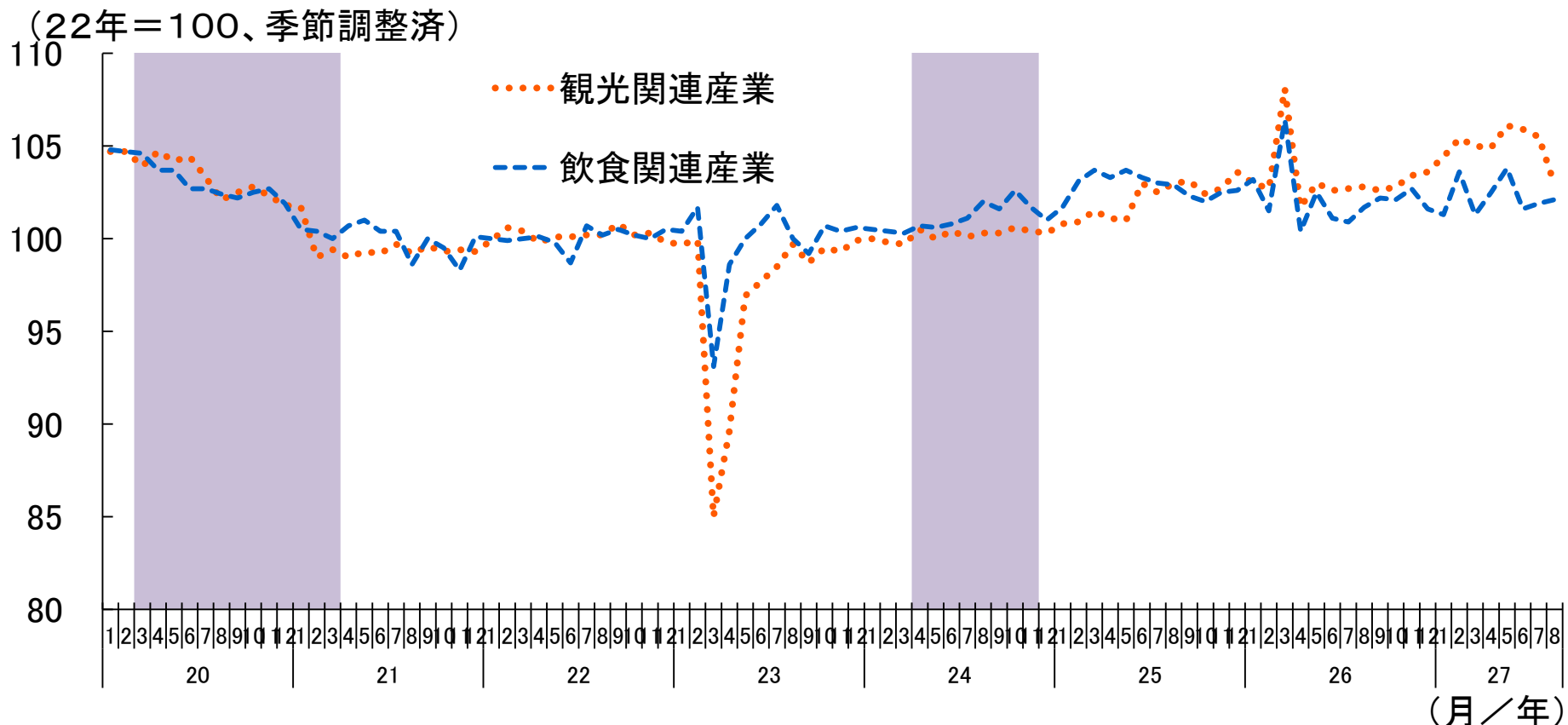


(注) 1. 「消費向け」は、非製造業から供給される個人消費関連のサービス(小売業や娯楽業など)の動きを表す系列。
「投資向け」は、非製造業から供給される民間企業設備関連のサービス(ソフトウェア開発、機械器具卸売業など)の動きを表す系列。

2. シャドー部分は景気後退局面。

観光関連産業及び飲食関連産業指数の動向

- 平成27年8月の観光関連産業は、前月比▲2.5%低下、飲食関連産業は前月比0.2%上昇。

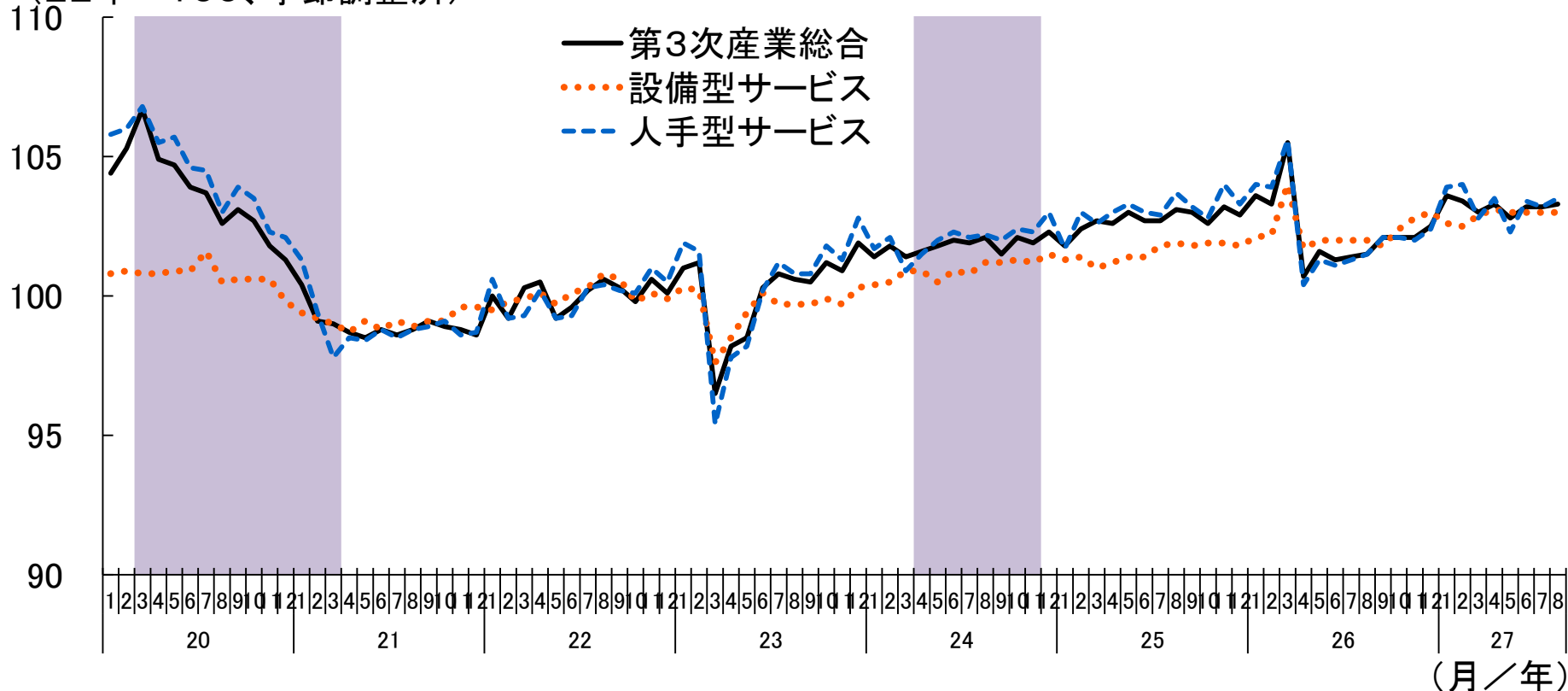


- (注) 1. 「観光関連産業」には鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶などの旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテルなどの宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる。
 「飲食関連産業」にはデパートなど各種商品小売業(飲食料品部門)、飲食料品小売業、食堂、レストランやファーストフードなどの飲食店、飲食サービス業が含まれる。
2. シャドー部分は景気後退局面。

設備型／人手型サービス指数の動向

- 平成27年8月の設備型第3次産業は、前月比0.0%と横ばい、人手型第3次産業は前月比0.3%上昇。

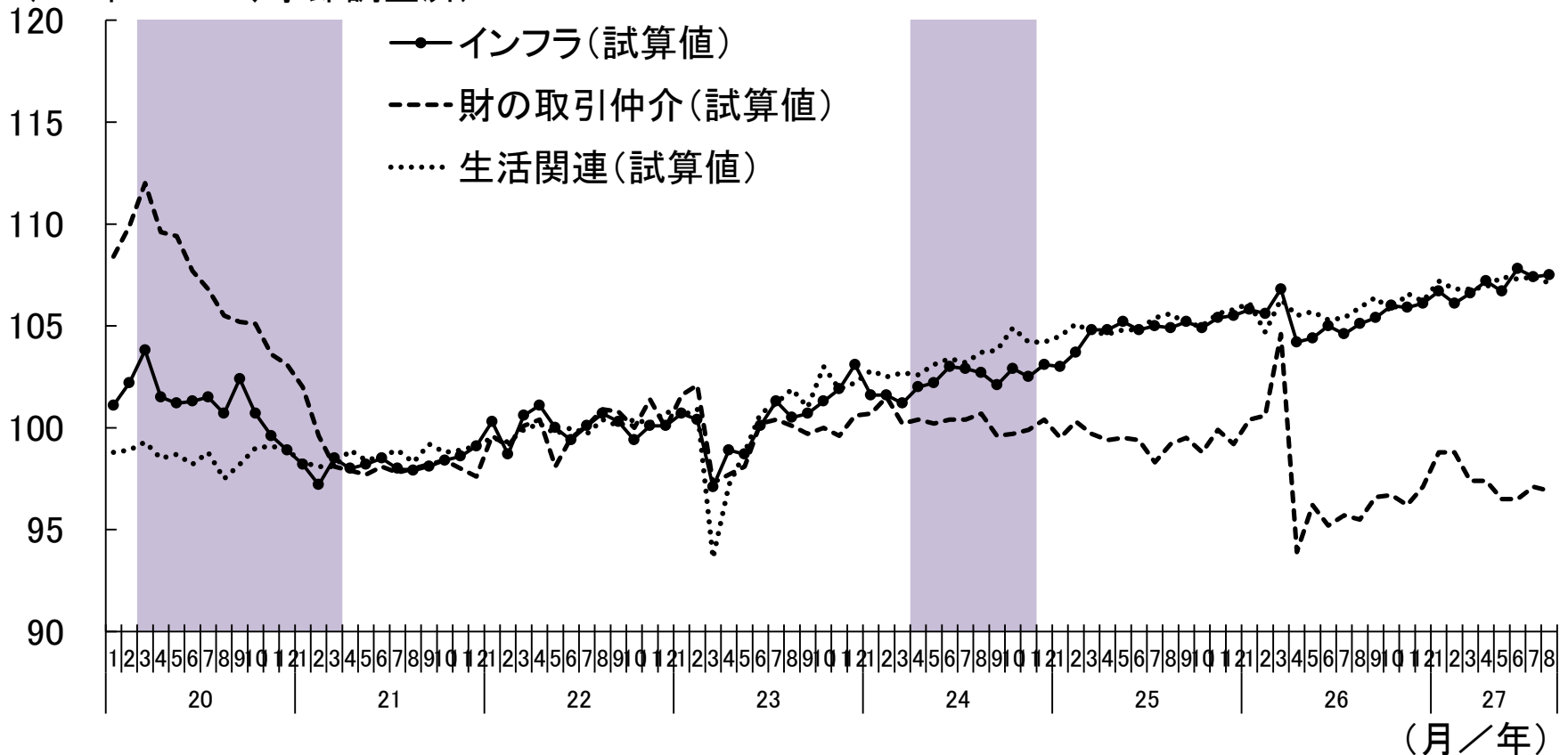
(22年=100、季節調整済)



- (注) 1. 第3次産業総合の内訳系列を「人手」に比べ「設備」をより必要とするタイプのサービスである「設備型サービス」と、反対に「設備」に比べ「人手」をより必要とするタイプのサービスである「人手型サービス」に分割。
 具体的には、産業連関表の資本減耗と雇用者報酬を比較し、資本減耗の方が大きい系列を「設備型サービス」に、雇用者報酬の方が大きい系列を「人手型サービス」に分類している。
2. シャドー部分は景気後退局面。

「インフラ」、「財の取引仲介」、「生活関連」の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 「インフラ」「財の取引仲介」「生活関連」の各指数は、それぞれ下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。なお、第3次産業活動指数の11ある大分類業種のうち「事業者向け関連サービス」は、この3つ試算値には含めていない。

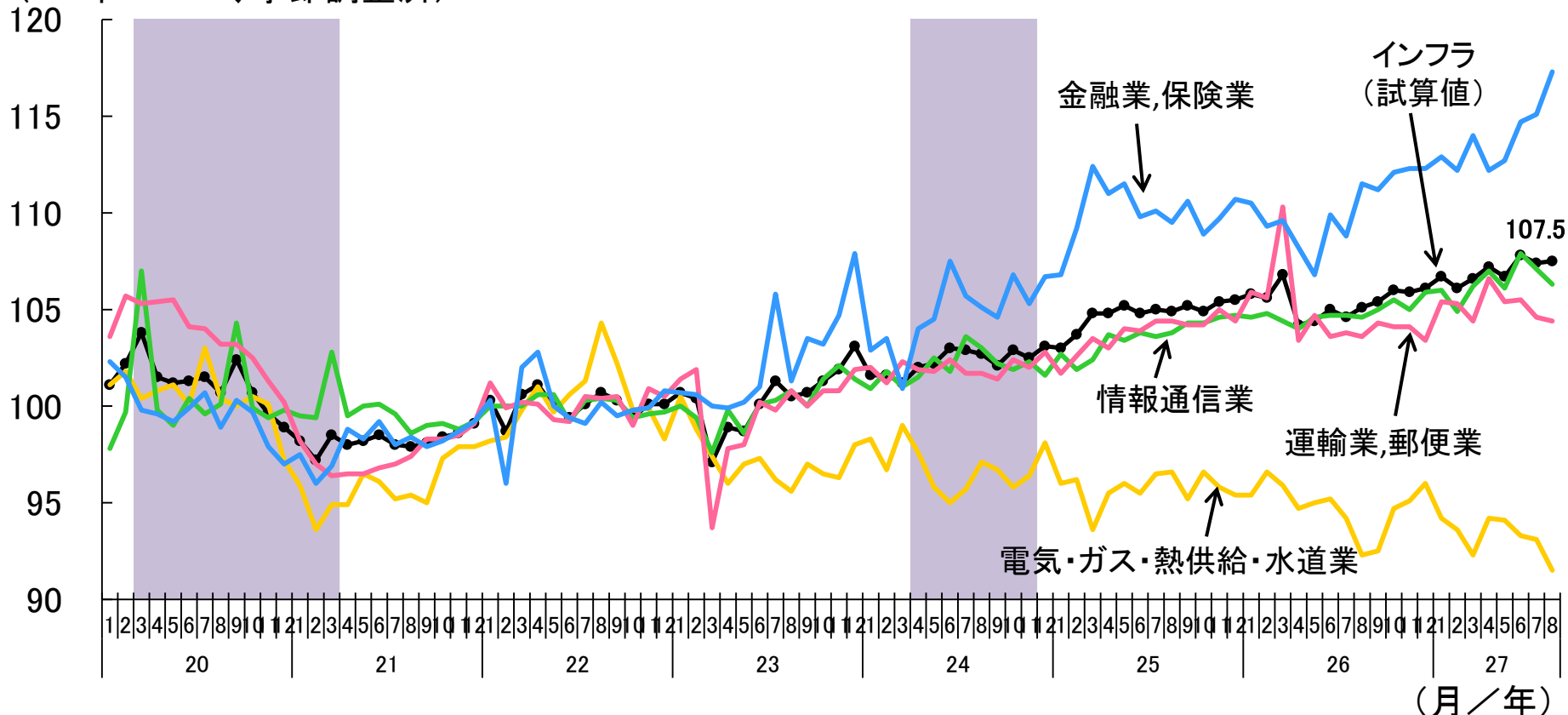
- ・インフラ: 電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業
- ・財の取引仲介: 卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業
- ・生活関連: 医療、福祉、生活娯楽関連サービス

2. シャド一部分は景気後退局面。

インフラ型第3次産業の動向

- 平成27年8月のインフラ型第3次産業は107.5。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 「インフラ」指数(試算値)は、下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。

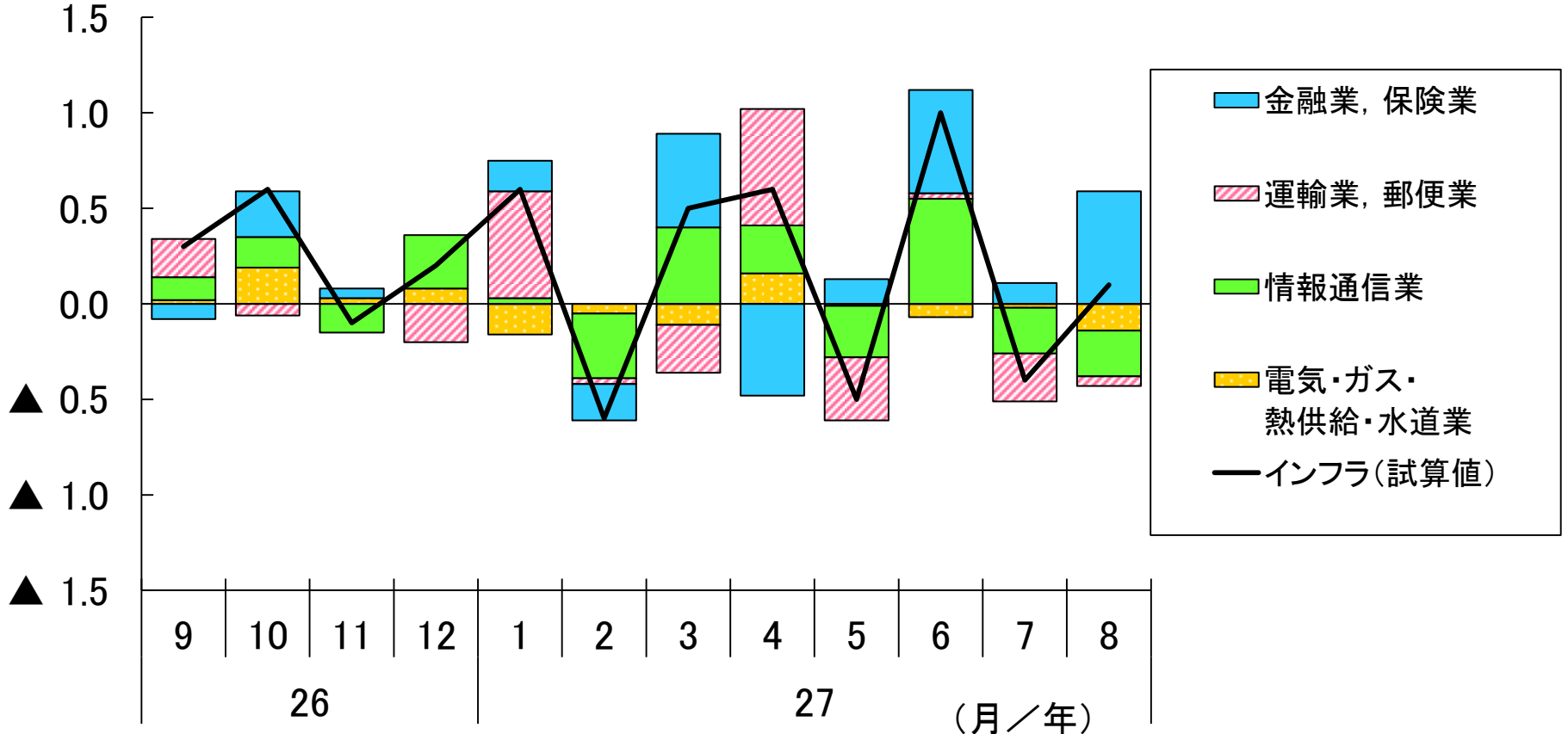
・インフラ: 電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業

2. シャドー部分は景気後退局面。

インフラ型第3次産業の前月比内訳寄与

- 平成27年8月のインフラは、金融業,保険業の上昇により前月比0.1%と上昇。

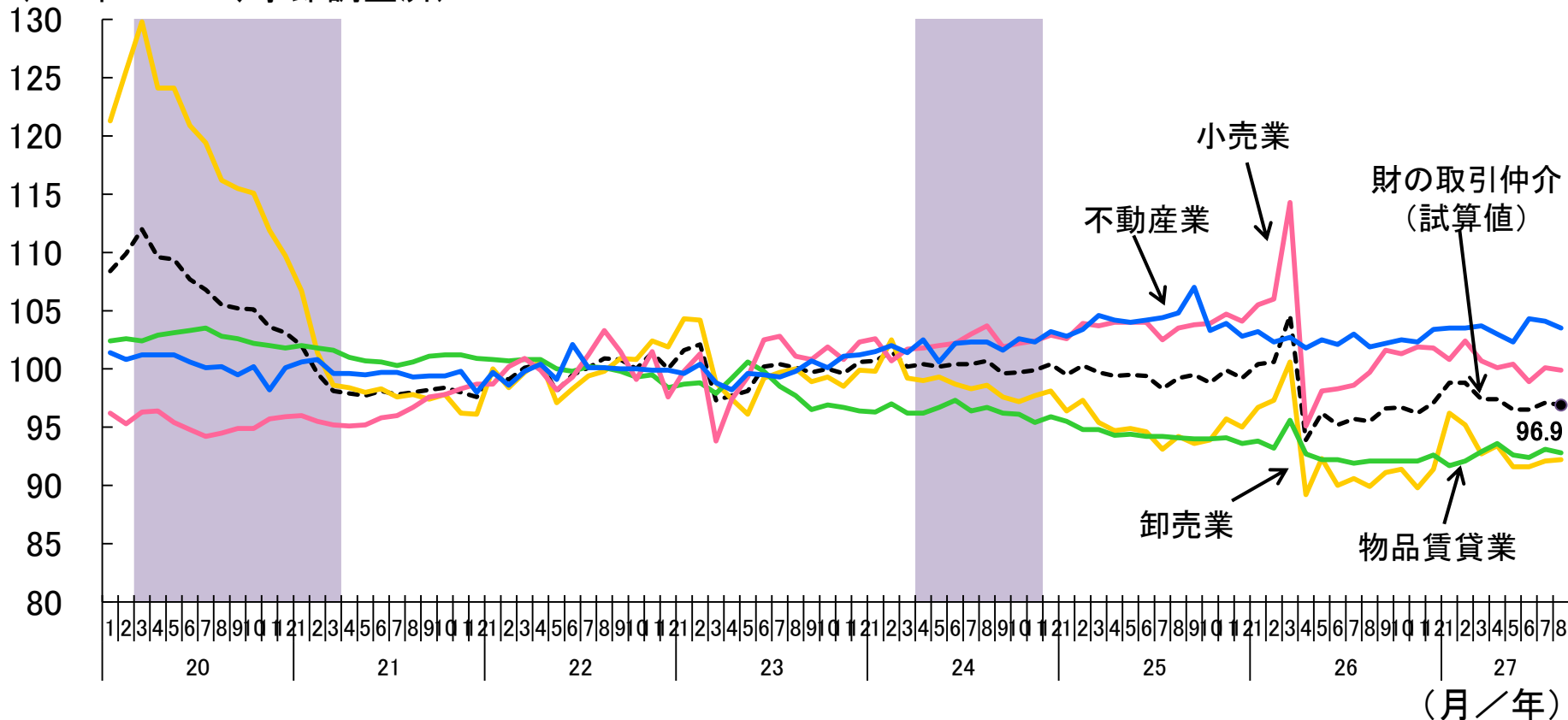
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



「財の取引仲介」型第3次産業の動向

- 平成27年8月の「財の取引仲介」型第3次産業は96.9。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 「財の取引仲介」指数(試算値)は、下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。

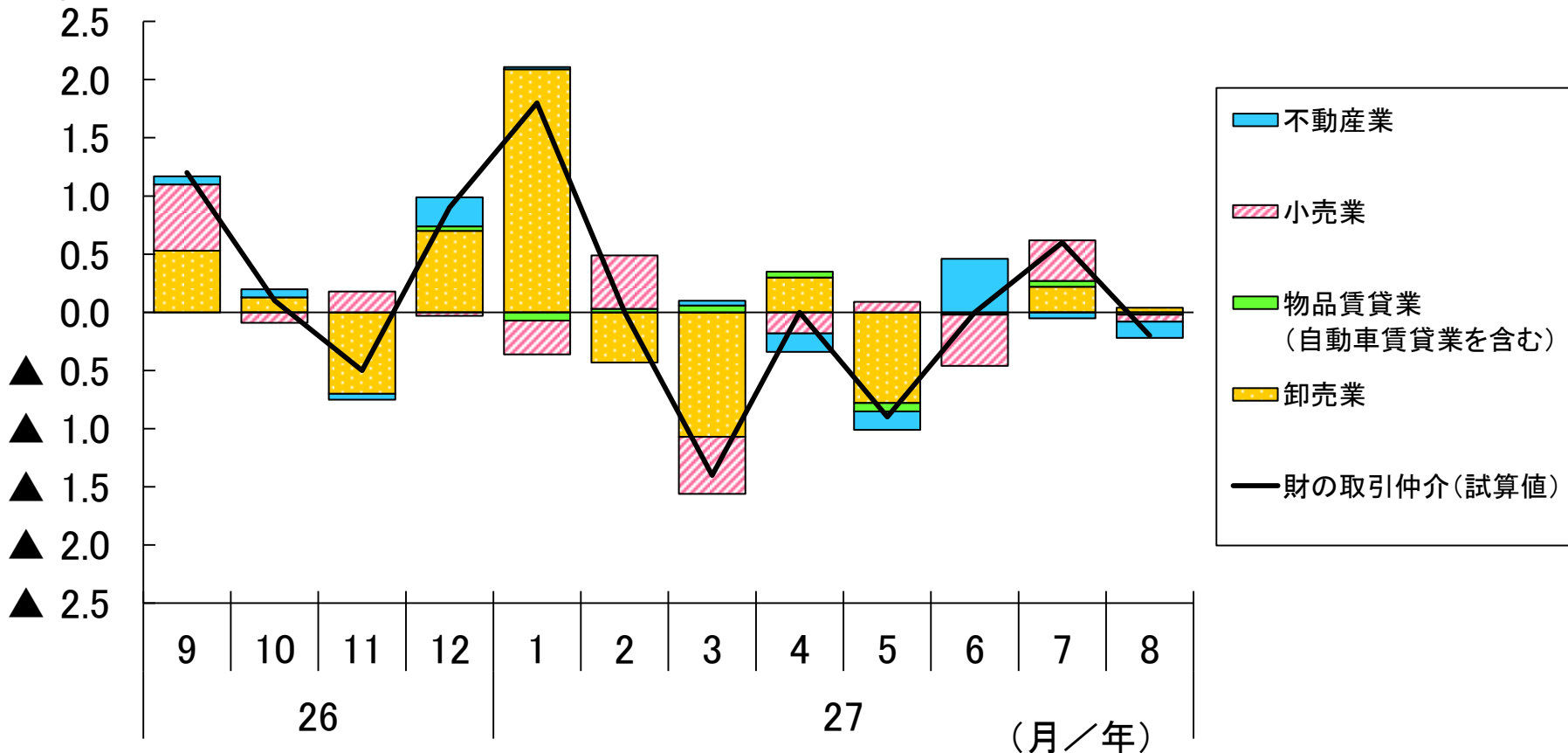
・財の取引仲介:卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業

2. シャド一部分は景気後退局面。

「財の取引仲介」型第3次産業の前月比内訳寄与

- 平成27年8月の「財の取引仲介」は、不動産業、小売業が低下したことより、前月比▲0.2%と低下。

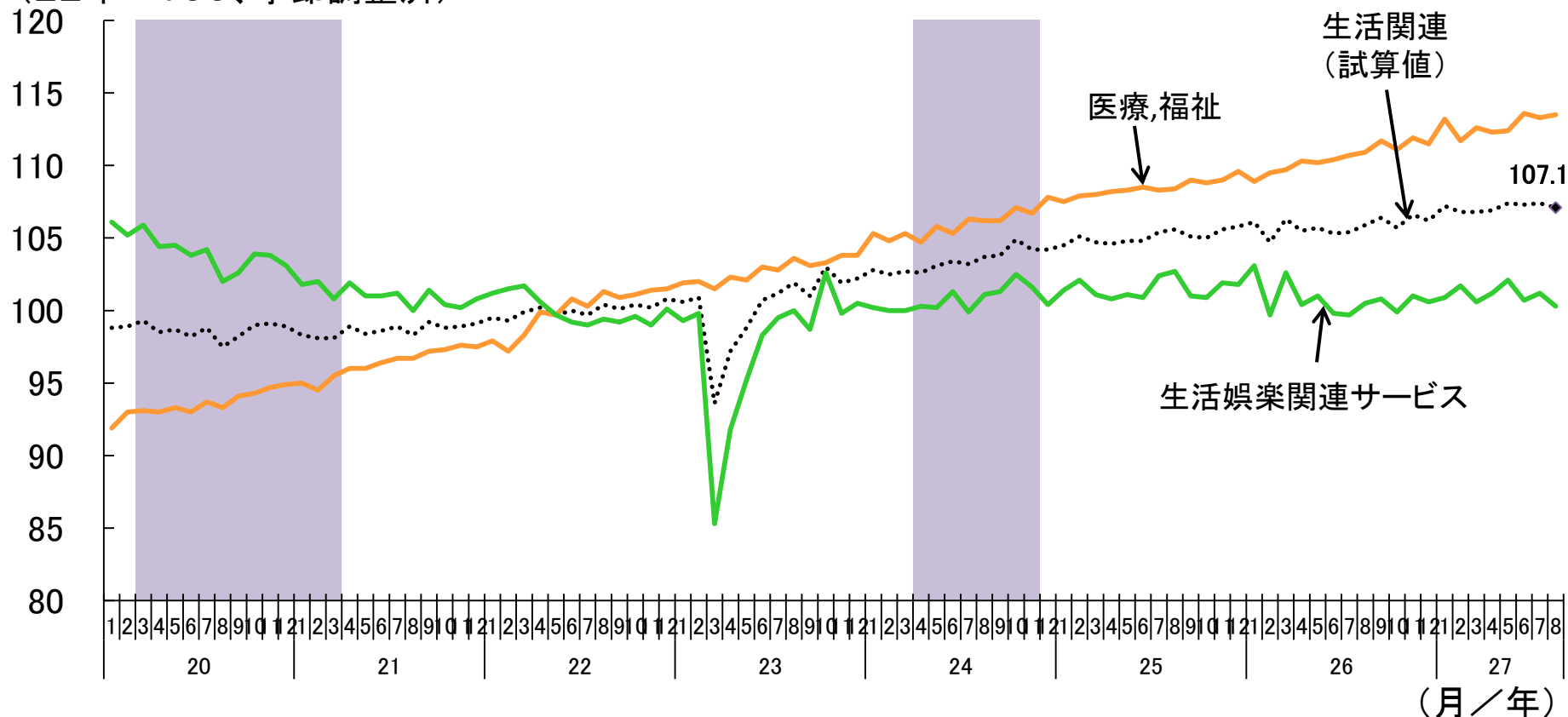
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



生活関連第3次産業の動向

- 平成27年8月の生活関連型第3次産業は107.1。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 「生活関連」指数(試算値)は、下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。

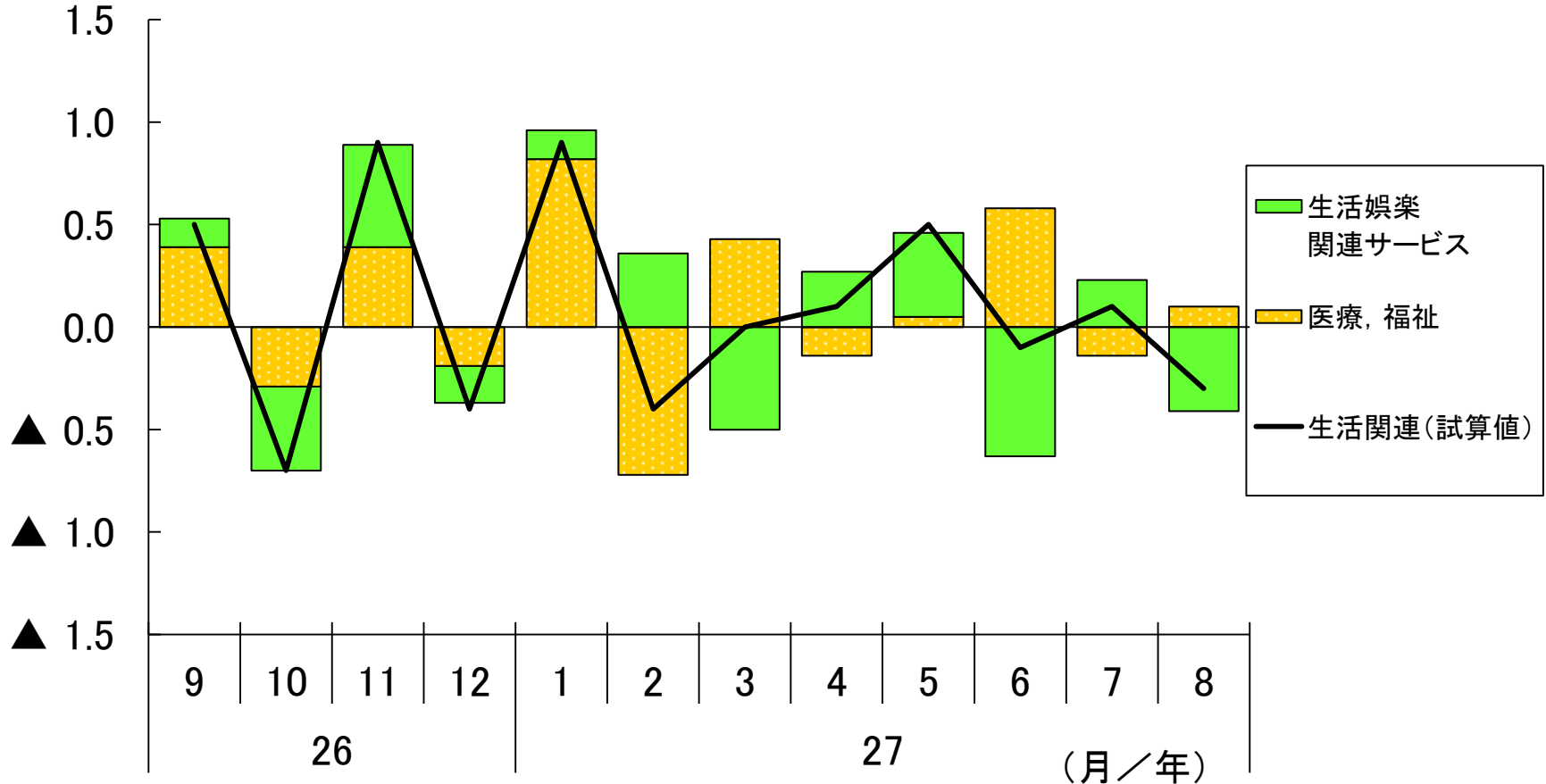
・生活関連: 医療,福祉、生活娯楽関連サービス

2. シャドー部分は景気後退局面。

生活関連第3次産業の前月比内訳寄与

- 平成27年8月の「生活関連」は、生活娯楽関連サービスが低下したことにより、前月比▲0.3%と低下。

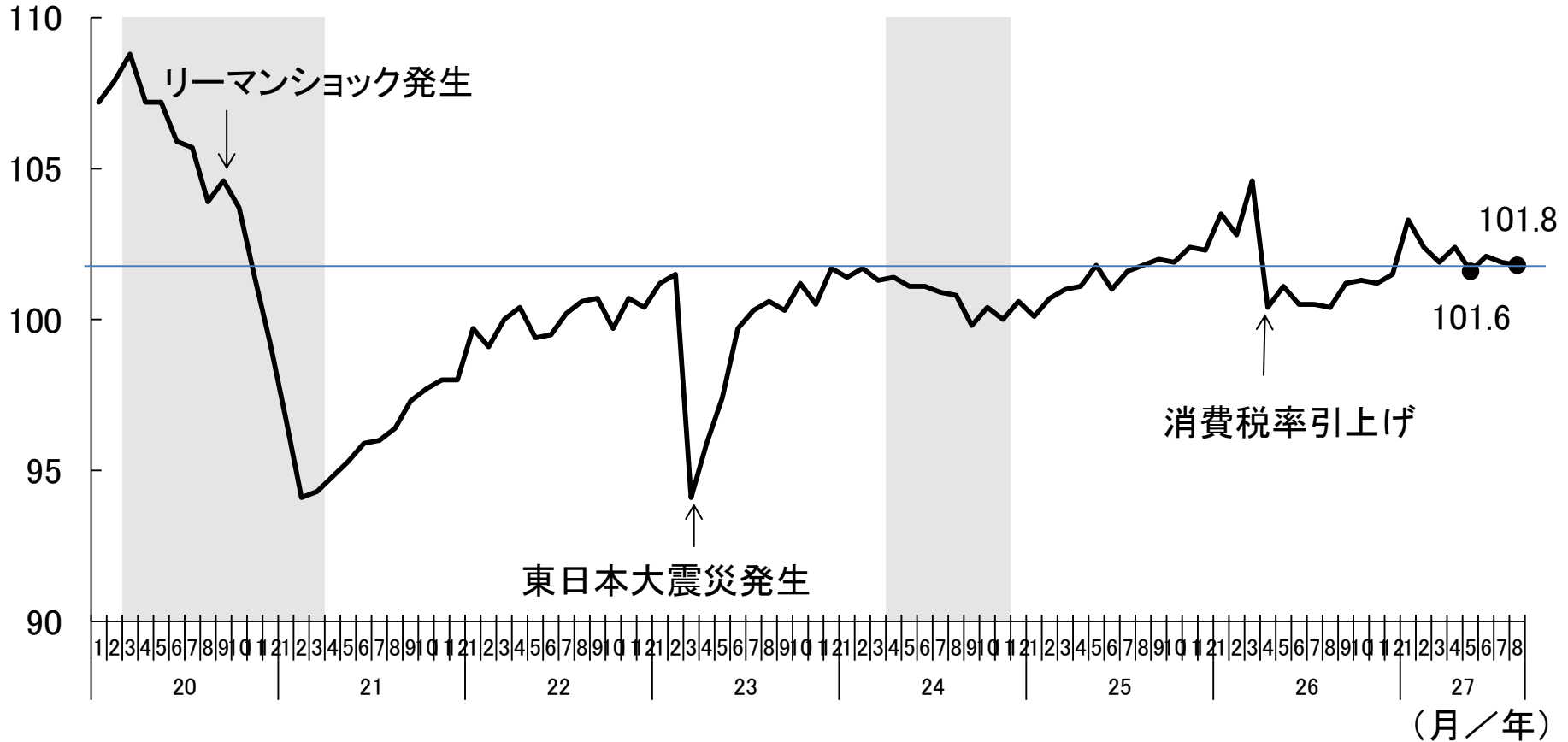
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



統合指数(試算値)の動向

- 平成27年8月の統合指数(試算値)は、101.8(前月比▲0.1%)と2か月連続の低下。
- 平成27年5月の101.6以来の水準。

(22年=100、季節調整済)



- (注) 1. 統合指数(試算値)は、鉱工業生産指数及び第3次産業活動指数の季節調整済指数を全産業活動指数のウエイトで加重平均することにより算出。
2. シャドー部分は景気後退局面。

統合指数(試算値)に対する産業別寄与度分解

- 平成27年8月の統合指数(前月比、季節調整済)の内訳をみると、第3次産業活動は前月から上昇(前月比寄与度0.08%ポイント)したものの、鉱工業生産が低下(同▲0.26%ポイント)したため、前月比▲0.1%の低下となった。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

